

# 外来から在宅まで

## 尼崎で25年「地域の町医者」に

外来診療から在宅医療まで途切れのない総合診療を行う、医療法人社団裕和会長尾クリニック(兵庫県尼崎市)。1998年7月、阪神淡路大震災の約半年後に長尾和安宏院長が開業して以来、「病だけではない人を診るクリニック」「生活を支える総合診療」を実践してきた。「地域の町医者」を目指して入職し、昨年7月新院長に就任した豊國剛大院長に、看取りへの取り組みや訪問看護との連携などについて話を聞いた。



▲長尾クリニック外観

### 地域の多職種で勉強会実施

在宅医療体制や職員数、患者数を教えてくださいます。

「終末期の経過、死」診断についても200名超を診ています。

豊國 当院では外来診療のほか、訪問診療、訪問リハビリ、訪問看護、居宅介護支援事業を手掛けている。23年1月現在、医師計20名(常勤医8名、非常勤医12名)、看護師28名(うち15名が訪問看護事業所に勤務)、理学療法士6名、ケアマネジャー6名など計114名の体制です。年中無休で診療しており、患者数は約330名。居宅介護支援事業所では330名ほどを受け持ち、訪問先の有

院長就任後の新体制で注力していることは、豊國 地域の介護事業所や訪問看護事業所、居宅とのつながりをより強くすることとを目的とした勉強会の実施です。顔を合わせ理念を共有しながら、皆で支える患者一人ひとりの安心感につなげていくため、数カ月に1回のペースで行っています。

例えは、昨年12月に行った勉強会は「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)をテーマに実施。今年2月に行った2回目では「終末期の経過、死」診断の留意点なども含め学びを深めました。各会30名前後の定員で、参加者は主にケアマネや介護職、訪問看護師。その日から使える実用的な視点を身に付けてらるる内容としており、今後は濱中裕子副院長による「緩和ケア」や中内脩介院長による「終末期と点検」などをテーマに開催予定です。

終末期医療、看取りについての考えを聞かせてください。豊國 在宅医療というのは、生活を続けていくためのものであり、患者が笑顔で最期まで自宅で生活するためにできることを追求しています。不安を抱えて生



長尾クリニック 豊國剛大院長

して安心を届ける必要があります。本人や家族の思いをいかに汲み取って支えていくか、これを検討する上でやはり多職種における普段の診療やケアの際の会話の共有が欠かせません。

### 看取り年150件 コロナ後も需要

豊國 まさしく、在宅医療において訪問看護師の役割

在宅医療に拡大していく上で、訪問看護が鍵になると言えます。訪問看護師は全看護士の1割弱といわれる状況で、看護師の拡充は課題ですが、訪問看護師たちが患者から家族の一員のように信頼され受け入れられている様子を見て、入職時、この「溶け込む看護」に感銘を受けました。人材確保は困難ですが、訪問看護師を志す人は自身の「看護観」を持った優秀な人が多いと感じます。当院では、訪問看護未経験者を採用し育成も行っています。

今後は、長尾クリニックが目指す姿とは、豊國 外来と在宅どちらも併用できること、そして診療科目が充実していることを強みに、「長尾にすれば大丈夫」と地域の人々に思ってもらえるクリニックづくりを目指します。当院では、外来から在宅まで幅広い、在宅の患者が元気になる、通院に切り替えることもできるなど、切れ目のない状態に合わせた医療を提供します。

宅医療の対応範囲を拡大していく上で、訪問看護が鍵になると言えます。訪問看護師は全看護士の1割弱といわれる状況で、看護師の拡充は課題ですが、訪問看護師たちが患者から家族の一員のように信頼され受け入れられている様子を見て、入職時、この「溶け込む看護」に感銘を受けました。人材確保は困難ですが、訪問看護師を志す人は自身の「看護観」を持った優秀な人が多いと感じます。当院では、訪問看護未経験者を採用し育成も行っています。

# 見守り支援機器の活用術一挙紹介!!

## ～今後の業界及び開発メーカーが目指す方向性とは～



基調講演 13:00~14:00  
**2024年介護保険制度改定の動向と見守り支援機器の活用術**  
 講師:一般社団法人 全国介護事業者連盟 理事長 齋藤正行氏

### 見守り支援機器機を用いた業務改善・効率化 ～メーカーによる活用事例紹介～

- 14:00~14:20 “頑張らない介護を実現する”ライブコネクト Z-Works 創業者 小川 誠氏
- 14:20~14:40 “睡眠解析技術をベースにしたSaaS型高齢者施設見守りシステム” ライフリズムナビ+Dr. エコナビスタ 取締役 杉寄将茂氏
- 14:40~14:50 休憩
- 14:50~15:10 “入居者の転倒予防と職員の負担軽減を実現する見守りシステム”Neos+Care(ネオスケア) ノーリップレシジョン リーダー 巽 敦司氏
- 15:10~15:30 “職員の業務効率向上、入居者の睡眠改善に活用する見守りシステム” 眠りSCAN パラマウントベッド IBS販売推進チーム エキスパート 岩田 剛氏
- 15:30~15:50 “ベッド下からこっそり見守り、新提案”ベッドセンサーシステムベースシック ミネベアミツミ メディカルSU 渡辺瑞季氏
- 15:50~16:10 “転倒予防、在床管理を1台で!見守りセンサー”ANSIEL(アンシエル) 積水化学工業 営業企画リーダー 和田 篤氏
- 16:10~16:20 エクセレントグループ紹介 エクセレントケアサポート 代表取締役 大川寛正氏

### 16:20~16:40 質疑応答

高齢者住宅新聞ウェビナー  
**3月14日(火)**  
 13:00 ~ 16:40  
**聴講費無料**

ZoomのURLは、開催日の1~2日前に、メールにてお送りいたします。※事前のお申込みが必要です。後日の配信はございません。

メールの転用行為を禁止しています。複数名の参加を希望されるご法人様は、参加者毎のお申込みをお願いいたします。社名を必ずご記入下さい。定員になり次第締め切ります。セミナーは法人対象です。

こちらから申込できます▶



お問い合わせ  
 主催:株式会社高齢者住宅新聞社  
 TEL.03-3543-6852  
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15  
 共催:エクセレントケアサポート

